

人と人、人と地域のきずなを結ぶ情報誌

京葉銀行

きずな

2020
春・夏号
No.20

[特集]

縄文土器の再現を通し、
縄文文化の研究、
歴史への理解を深める

千葉県 加曾利貝塚土器づくり同好会

[散歩道]

加曾利野鳥&貝塚散歩

加曾利貝塚縄文遺跡公園を出発
野鳥と貝塚を楽しむ

縄文土器の再現を通し、 縄文文化の研究、歴史への理解を深める

加曽利貝塚土器づくり同好会は、40年以上の活動の歴史があります。
土器づくりの作業にはモノ作りの楽しさ、作品が出来上がる喜び、そしてアウトドア 活動の面白さなど、様々な楽しみが詰まっており、その魅力に多くの人が集まります。





土器づくりには、粘土作りから、成型、焼きまで、たくさんの工程があります



40年以上の歴史を持つ 加曾利貝塚土器づくり 同好会

加曾利貝塚土器づくり同好会の結成は1974年(昭和49年)のこと。もう40年以上の歴史があります。もともとは、加曾利貝塚博物館が開館して間もない1969年(昭和44年)に、土器製作研究の草分けである新井司郎氏を所長として迎え、縄文土器製作研究所が作られたのがその始まりです。残念なことに、新井氏は1971年(昭和46年)に急逝されましたが、その活動を受け継ぎ、広く市民が参加した土器づくりの場として、この加曾利貝塚土器づくり同好会が結成されました。結成以来メンバーは少しずつ入れ替わっていますが、現在も100名くらいの方が参加しています。



「参加しているメンバーには様々な方がいます。もちろん土器づくり自体に面白さを感じていらっしゃる方がほとんどですが、土器を通して、当時の生活の様子、時代に学術的な興味を持たれ熱心に研究されたり、地層や地質への興味から会に参加された方もいらっしゃいます」と語るのは、会長の宮間秀規さん。



同好会会長の宮間秀規さん

宮間さんはもともと居酒屋を経営していましたが、今はほとんど毎日のようにここを訪れ、土器製作の世界にはまっているとのこと。

「小さいときに土器を拾った経験、感動をずっと忘れていませんでした。会に参加するようになった大きなきっかけは、お店を新しくする時に仕事が休みになり、加曾利貝塚の発掘調査を手伝ったことでした。縄文時代の生活や道具に興味を持ち、そこから本格的に土器づくりにはまりました」(宮間秀規さん)



土器づくりには多くの工程があります。粘土の採取、乾燥、砕き、こね。土器を成形し、縄の文様を付け、焼く作業等々。焼きには薪作りも必要で、完成までには大変な労力がかかります。

「粘土をこね、造形し、模様をつける作業。そして薪を集め、火をおこし、焼き付ける作業。最後には一つも同じものがない土器という作品が出来上がる。この土器づくりの作業には、モノづくりの面白さとアウトドアでの作業の楽しさが全部詰まっています。特に現代社会では焚火ができるというだけで貴重な場ともいえるかもしれません。だから毎週、多くの会員が喜んで参加しているのだと思います」(宮間秀規さん)



ここ加曾利貝塚で作られていた土器は「加曾利E式」と名付けられています。加曾利貝塚のE地点と呼ばれる場所で発見されたことから名づけられた、関東地方の縄文時代中期を代表する土器の名称の一つです。

加曾利の名前は付けられていますが、およそ4,500年前から4,000年前、同じ特徴を持つ土器が関東地方全域で作られていました。形状は時とともに少しずつ変化していますが、大型の土器の多くは口径が広く、底に行くにしたがって細くなる形状となっています。これは平面にそのまま土器を置いて使用するのではなく、下部を土に開けられた穴にはめ込み安定させ、その周りで火を焚いて煮炊きをしていたのでは、との推測もあります。

「例えば土器の中には人の顔が上部に飾られたようなデザインのものがあります。中には顔が内側を向いたようなユニークなものもあります。このデザインひとつとっても、当時の人の思いを推測するのが面白い。たとえば人面が土器の中を向くことで、貴重な食べ物を見守っているのではという説もあったり、当時の人の思いや生活を想像するのも楽しいですね」(宮間秀規さん)

土器づくりを通して得られる多くの楽しみの一方、長年の活動の中では、大変な局面もあったとのこと。特に原料となる粘土は非常に貴重で、入手にはいつも苦労されているようです。

「土器づくりに使う粘土の原料は土から採取するのですが、実は一時期、粘土が不足した時期がありました。先輩方が残してくれた粘土もなくなりかけ、もう土器の制作を続けるのが難しいのでは、と思われた時期もありました。こうした時、偶然知り合いの土建業の方から、良い粘土層があるから、と連絡が入り救われたこともありました。縁とタイミング。皆様のご協力があったこの会が存続できている部分があります」(宮間秀規さん)

よりなどで年2回(春、秋)一般公募し、抽選で選ばれた一般市民の方々の土器づくりをサポートするものです。

この市民土器づくり講座では、ここで土器づくりの楽しみに触れた市民の方々が新しく保存会に入会する機会ともなっています。

こうしたイベントの会場では、加曾利貝塚の貝層で一番多く確認されているイボキサゴを使って煮炊きした「縄文スープ」も振る舞われます。

また博物館が主催するさまざまな学術講座に会員が参加し、歴史や地学を学び、土器づくりの楽しみを広げています。博物館と一体になった活動を行うことで、土器づくりの楽しみの幅はさらに広がっていきます。

現在、全国のさまざまな地域で土器づくりの活動が行われていますが、多くの方がこの加曾利貝塚を一度は訪れ、土器製作を学んでいきます。



今年制作された土偶ひな人形。加曾利貝塚博物館展示室や生涯学習センター、千葉市役所のメインロビーに展示されます。

1年を通し、様々な活動を展開

ここで作り出される作品は土器だけでなく、土偶や耳飾りなどもあります。今年は土偶で雛人形が制作され、加曾利貝塚博物館展示室や生涯学習センター、千葉市役所のメ



博物館展示室に展示されている再現された作品の数々。土器の形状によってどのように使われていたのか、当時の生活の様子を想像するのも面白いでしょう。ポスターは年に2回開催される作品展のもの。

文字通り、加曾利貝塚博物館は現在の日本の土器製作の中心と言える場所となっています。

「この博物館では、ガイドの会、地域で博物館を支える友の会、そして私たち同好会の3つのグループが協力し合って活動を支えています。日頃からお互いに知識を深めあいながら活動の輪を広げています。今後もこうした交流を大切にし、貴重な歴史を伝えていきたいと考えています」(宮間秀規さん)

図書館を探し、手に入れたという縄文土器の文様の資料を片手に、土器に文様を施す作業をする会の方。その熱中する姿は、単なる趣味を超え、喜びの時間を自由に過ごされている、そんなうらやましいような風景でした。

土器ができるまで

●粘土をつくる

土器づくりの始めは粘土づくりからです。粘土層から粘土を採集し、良質な粘土を選別。1年ほど天日で乾燥させた後、粉砕機で細かく砕いていきます。さらに粘土と砂をよく混ぜ、水を加えます。次によく練っていきます。この練りの作業は1日仕事になる場合もあるとのこと。



●土器をつくる

円盤状の底をつくり、ひも状にした粘土を一段ずつ輪積みしていきます。大きいものでは6、7キロも粘土を使用します。次に、輪積みしたひも状粘土を接着させ、すき間を丹念につぶしていきます。かたちができたら表面を平滑に整え、縄を転がして縄文をつけていきます。そのうえで竹の棒などを使って文様を描いていきます。



●土器を焼く

仕上げは焼の作業です。薪を燃やして火床(熾)をつくり、少し離して土器を配置し、土中の湿気を抜いていきます。湿気が残っていると、土器が割れる原因になります。火床の周りで温めながら、十分に水分を抜いていきます。土器全体が素手で持てないくらいに温まったら、薪が燃えて熾火になった火床の中に置き、全体が黒くすすむまで熾火の中でじっくり温めていきます。最後は、900度近くまで上がる炎の中で焼きます。



焼き上がったら完成!



インロビーにも展示されるとのこと。

毎週会員が加曾利貝塚博物館の敷地内にある会場に集まって土器づくりの作業が行われていますが、それ以外にも年間を通して、多くの活動が行われています。

同好会作品展は毎年3月か4月に開催されるもの。毎回テーマを決

めて行われるもので、本物の土器を忠実に再現したものを展示していきます。

夏休み小学生土器づくり教室は、一般公募し抽選で選ばれた小学生の土器づくりをサポートする活動。

また市民土器づくり講座は、加曾利貝塚博物館が、千葉市の市政だ

散歩道

加曾利貝塚周辺

加曾利野鳥&貝塚散歩

加曾利貝塚縄文遺跡公園を出発 野鳥と貝塚を楽しむ

今回の散歩は、特集で登場した加曾利貝塚縄文遺跡公園が出発地。この地域には加曾利貝塚だけでなく他にも貴重な貝塚が残されています。途中には野鳥が訪れ、生活する公園も。新しい千葉市の表情を発見できるかもしれません。



池には常にきれいな水が流れ込み、鯉や野鳥の棲家になっています。



散歩の出発点、加曾利貝塚縄文遺跡公園。

を走る京葉道路をこえたところで、細い道を左折します。

50mほど歩くと、いきなり視界が開け、正面に一本の大きな樹が立つ、広い空き地におつかります。ここが国指定史跡「荒屋敷貝塚」です。約5,500年前の縄文時代中期から約3,500年前の縄文時代後期にかけてできた貝塚で、なだらかに隆起した丘が広がります。

道を渡り貝塚沿いの道を右折。貝塚を左に見ながら100mほど進み、駐車場を過ぎたところで細い道を左折、坂道を降りていきます。坂を下りきったところ、左側に小山になった林があります。よく見てみると、細い昇り坂の上に小さな祠。近づくと、扉の上に「山王神社」のありがたい文字が。



①荒屋敷貝塚
荒屋敷貝塚の貝層部の直径は約180m。ハマグリ、アサリ、キサゴを主とした貝塚です。よく地面を観察すると、いたるところに貝殻を見つけることができます。



今回の散歩コースでは2度京葉道路の上を渡ります。特に荒屋敷貝塚の下を走るトンネル出口の場所は、公園の端から見渡すことができます。荒屋敷貝塚から貝塚交差点に向かう途中には「山王神社」の小さな祠があります。

わきを走る国道16号に出ます。歩道を300mほど進み、貝塚交差点を左折。交差点を渡り小桜橋通りを直進していきます。

中華料理「昇竜」を右手に見ながら700mほど進むと、右手に池のある加曾利じゅん菜池公園があり、鳥たちの姿が見られます。奥深く続く公園の一方は長々と山林が続く、池には樹々が影を落とし、水の流れる音だけが聞こえる、ひっそりとした落ち着く空間を作り上げています。

公園の方面に右折し、公園沿いの道を、グラウンドを右に見るよう200mほど歩いていくと車道に突き当たります。これを左折。30mほど進んだ路地を右に入って数十メートル行くと、正面に大きな山林が現れます。国指定史跡「花輪貝塚」です。

先ほどの道に戻り、さらに400

mほど坂道を進むと再び小桜橋通りに。右正面にセブンイレブンがありますので、その脇の道を進みます。

県営住宅の中を進み、道なりに進んでいくと、右側に出発点の加曾利貝塚縄文遺跡公園が見えてきます。



②加曾利じゅん菜池公園
加曾利じゅん菜池公園は、きれいな池のある、大きな森に囲まれた公園です。園内には自然を楽しめる散歩道も整備されています。園内にあるじゅん菜池には水鳥が暮らし、たくさんの野鳥がここを訪れます。運が良ければ野鳥が水浴びをする姿を間近に観察することもできます。



③花輪貝塚
住宅地の中に忽然と姿を現す花輪貝塚。加曾利貝塚とは異なり、貝塚が山の姿をしています。その巨大な貝塚は一見の価値あり。



加曾利貝塚縄文遺跡公園を出発、荒屋敷貝塚へ

今回の散歩は加曾利貝塚縄文遺跡公園を出て、野鳥や他の貝塚をめぐる5km強のコースです。

加曾利貝塚縄文遺跡公園の入り口から正面に伸びる道を進み、国道51号を左折。左側にウエルシアがあります。その手前の道を右折。住宅街の中を進むと北千葉バイパスの片側二車線の広い通りに出ます。ここを左折。道の左右に樹木が茂り、正面には巨大な赤と白の鉄塔が建っています。ここを1km弱進んでいきます。途中、道の左側には、園芸ショップ「花工房」があります。花屋さんを過ぎると正面に大きな「貝塚町」の交差点があります。これを「柏八千代」方面に左側の歩道を直進。下

加曾利お散歩グルメ

国道51号に出て左折。次の目印となっているウエルシアの隣には、「もち吉 千葉若葉店」があります。全国チェーンのあらやおせんべいを扱うお店ですが、ここ千葉でも大人気で、取材時も大勢のお客さんが来店していました。商品が多彩で、店頭で「どれにしよう?」と幸せに迷っているお客さんの姿が印象的。千葉若葉店では店内にイートインのコーナーが設けられていて、散歩の途中立ち寄り、休憩をすることもできます。



餅のおまつり 小缶(28枚) 1,296円(税込)

もち吉 千葉若葉店
ここで紹介しているのは「餅のおまつり」。人気のサラダ味としょうゆ味がセットになっています。
■営業時間 10:00~18:30
■千葉県千葉市若葉区桜木4丁目16-3 ■043-235-8317

「天気」と「季節」編

いよいよオリンピックの年。千葉県でも様々なイベントが用意され、海外からのお客さまもさらに増えていきそうです。

いろんな機会に、外国人の方とちょっとした会話を交わすこともあるかもしれません。

外国人の方は日本の美しい風景とともに楽しみにしているのが、日本の方との交流です。せっかくのチャンスですので、皆さんもかんたんな英語を覚え、英会話に挑戦してみましょう。

今回は、「天気」や「季節」についてのさまざまな表現をご紹介します。

【まずはさまざまな天候について】

お天気ごと、こんな表現があります。

The weather is good.

(訳) 天気がいいですね。

(カタカナイングリッシュ)

ザ ウェザー イズ グッドゥ。

weather: 天気

The weather is not so good.

(訳) あまり天気がよくありませんね。

(カタカナイングリッシュ)

ザ ウェザー イズ ノット ソー グッドゥ。

It's a bit cloudy.

(訳) 少し曇ってますね。

(カタカナイングリッシュ)

イツ ア ビット クラウドィ。

bit: 少し

cloudy: 曇り

【季節についての会話】

季節や気候についての会話をご紹介します。

It's cold today.

(訳) 今日は寒いですね。

(カタカナイングリッシュ)

イツ コールド トゥデイ。

cold: 寒い

It's warm today.

(訳) 今日は暖かいですね。

(カタカナイングリッシュ)

イツ ウォーム トゥデイ。

warm: 暖かい

Summer in Japan is humid.

(訳) 日本の夏は、蒸し暑いです。

(カタカナイングリッシュ)

サマー イン ジャパン イズ ヒューミッドゥ。

humid: 湿気

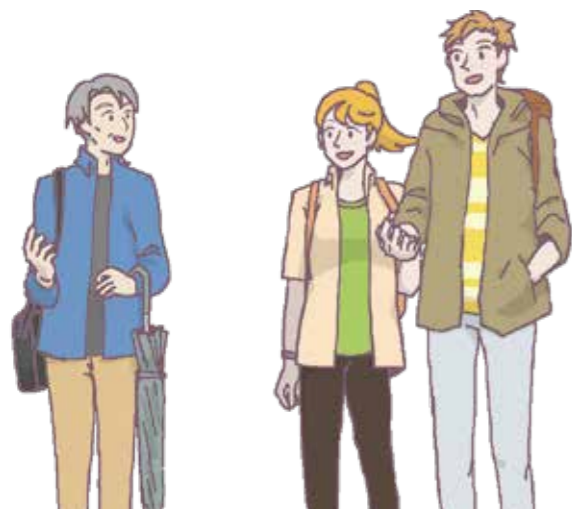
It is getting warmer and warmer.

(訳) だんだんと暖かくなってきました。

(カタカナイングリッシュ)

イッティ イズ ゲティング ウォーマ アンド
ウォーマ。

次回の「はじめてEnglish」は、「マナーの違い」についての会話をご紹介します。お楽しみに!



[エクササイズ]

はじめよう! かんたんストレッチ! 第4回

1日たった5分程度。かんたんストレッチを毎日無理なく続けることで、体力増進、良好な体調を目指しましょう。第4回は、血行を促進し身体をポカポカ温めてくれるストレッチ。寝る前などに行くと効果的です。

【こんな方にお勧めです】

- 手足や腰が冷える
- 肩こり、不眠が気になる

【冷え性とは】

寒さが厳しい冬はもちろん、春、あたたかな気候となっても、手足や腰が冷え、よく眠れない。特に女性は、そんな症状にお悩みの方は多いのではないのでしょうか。

冷えの原因の一つに血行不良があります。運動不足なども血行不良の大きな原因ですが、時に自律神経の乱れや栄養の偏りも冷え症を招くことがあるようです。

そこでストレッチ! 手軽にできる運動を毎日続けることで血液の循環をよくしていきましょう。こうした運動は自律神経のはたらきを正常化するとも言われています。

足のストレッチ

動作1

裸足になり、足をのばして座ります。

動作2

両足の指をなるべく大きく開き、次にギュッと縮めることを繰り返します。15回程度繰り返しましょう。



足首まわしのストレッチ

動作1

両足を伸ばして座り、右足を曲げ、左足の上へのせまします。

動作2

左手の指と右足の指を組み、右手で右足首を持ち固定します。その状態で右足首をゆっくり回していきます。10回程度やってみましょう。

動作3

反対の足も同様に行います。これを3セット繰り返しましょう。



身体伸ばしストレッチ

動作1

足を前後に開き、軽く曲げます。後ろ側の足のアキレス腱を伸ばすイメージです。

動作2

両手を頭の上で組みます。人差し指は伸ばし、そのまま上半身と腕が垂直になるよう天井に向けて伸びるようにします。

動作3

足が前に出ている方へ体を静かに傾け、そのまま10秒。

動作4

次に左右の足を反対にして同じように行います。左右3回ずつ程度、行ってみましょう。



<注意>決して無理はなさらずに! 痛みなど感じた場合は、すぐにストレッチを中止しましょう。

今回は体調が良くなる「簡単ひねるだけストレッチ」をご紹介します。

千葉の野に生きる 野花と野草

-4-



いよいよ春の到来。お散歩にも最適な季節です。

普段の散歩コースにも、春の到来を告げる様々な草木や野花が現れます。

その中の一つか二つ、名前や姿を覚えておくと、自然を眺める小さな目的ができて、いつもと違った風景も見えてきます。

別名「鏡草」とも呼ばれています。

このことから、「輝く心」という花言葉がつけられました。また、スペインやフランスではカタバミを「ハレルヤ」と呼ぶことから「喜び」という花言葉もつようになりました。日本では地方ごとに「かがみぐさ」「すいば」「しよっぱぐさ」「すずめぐさ」「ねこあし」「もんかたばみ」など様々な呼び名があります。

■カタバミ

カタバミは世界中に分布している植物で、道端や庭、畑などで地面を這うように自生しています。ハート型の葉を3枚つけ、5〜10月には黄色のかわいらしい花を咲かせます。よくクローバーと間違われますが、異なる植物です。

カタバミは、真鍮しんそうの鏡や仏具を磨くために用いられていたことから、



■ヒルガキツキシソウ

もともと月見草は花が夜咲くことから、花が月見をしているという意味で名づけられたのですが、ヒルガキツキシソウは昼に咲く月見草です。本州、四国の日当たりの良い道端で多く見られ、初夏の7〜9月にはピンクと白の混じったような花を長期間咲かせます。葉は比較的小さく、枝は直立しますが、それほど背丈は伸びません。

花壇にもよく用いられています



が、実は現在、ツキシソウとして広く栽培されているのはこのヒルガキツキシソウです。夜咲き種のツキシソウは純白の花を咲かせます。花言葉は「物言わぬ恋」「自由な心」「奥深い愛情」です。

